

## 第9学年 学級活動 学習指導案

呉市立広南中学校 指導者 岩城 祥子

第3学年部 佐伯育伸 裏山富美子

1 日 時 令和元年2月12日(水) 5時間目(13:30~14:20)

2 学年・学級 第9学年(男子10名 女子11名)計21名

3 題 材 「9年間を振り返り、自分の成長や将来の自分の姿について語り合おう」

内容(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

4 生徒の実態と題材設定の理由について

(1) 生徒の実態

所属校では、学校の教育目標を達成するため七つの資質・能力を設定し、課題発見・解決学習を行ったり、各教科等を横断的につないだりして単元開発を行ってきた(以下、「プロジェクト学習」とする。)。その結果、平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の質問紙調査から、所属校の育成を目指す資質・能力に関する項目で肯定的回答は80%以上であった。また、キャリア教育で育成すべき基礎的・汎用的能力について所属校の生徒実態を把握するため、第3学年生徒21名にアンケートを実施した。中学校キャリア教育の手引きの「キャリア教育アンケートの一例」を基に4段階評定尺度法で行った調査では、右表のようになり、人間関係形成・社会形成能力及びキャリアプランニング能力については肯定的評価が見られる。一方で、自己理解・自己管理能力、課題対応能力に課題を抱えていると考えられる。1, 2学期に取り組んだ行事である「小中合同運動会」「文化活動発表会」や、総合的な学習の時間で取り組んだ「For the Next Step」「未来貢献プロジェクト」などの活動から大きな達成感を味わう活動が実施されているので、これまでの学校生活や今度の活動を自分の生き方とつなげる必要があると考える。

基礎的・汎用的能力	平均
人間関係形成・社会形成	3.19
自己理解・自己管理	2.94
課題対応	2.9
キャリアプランニング	3.05

(2) 題材設定の理由

生徒の実態から、本題材では、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説特別活動編(以下「解説」とする。)に示されている学級活動の内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」「ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」を取り扱う。「解説」では、キャリア教育に関わる様々な活動に関して、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うことが示されている。また、学級活動において、生徒が活動を記録し、蓄積するポートフォリオ的な教材を活用することで、発達の段階に応じた系統的なキャリア教育を充実させることができると示されている。

本題材では、小学校生活と、中学校生活を通して取り組んだ「プロジェクト学習」や所属校で育成を目指す七つの資質・能力を振り返り、自己の成長や課題に気付く活動を行う。さらに、中学校生活を振り返り、将来自分がどうありたいか、どういう役割を果たしたいかを考えることで、自己実現を図ろうとする態度を育成する。

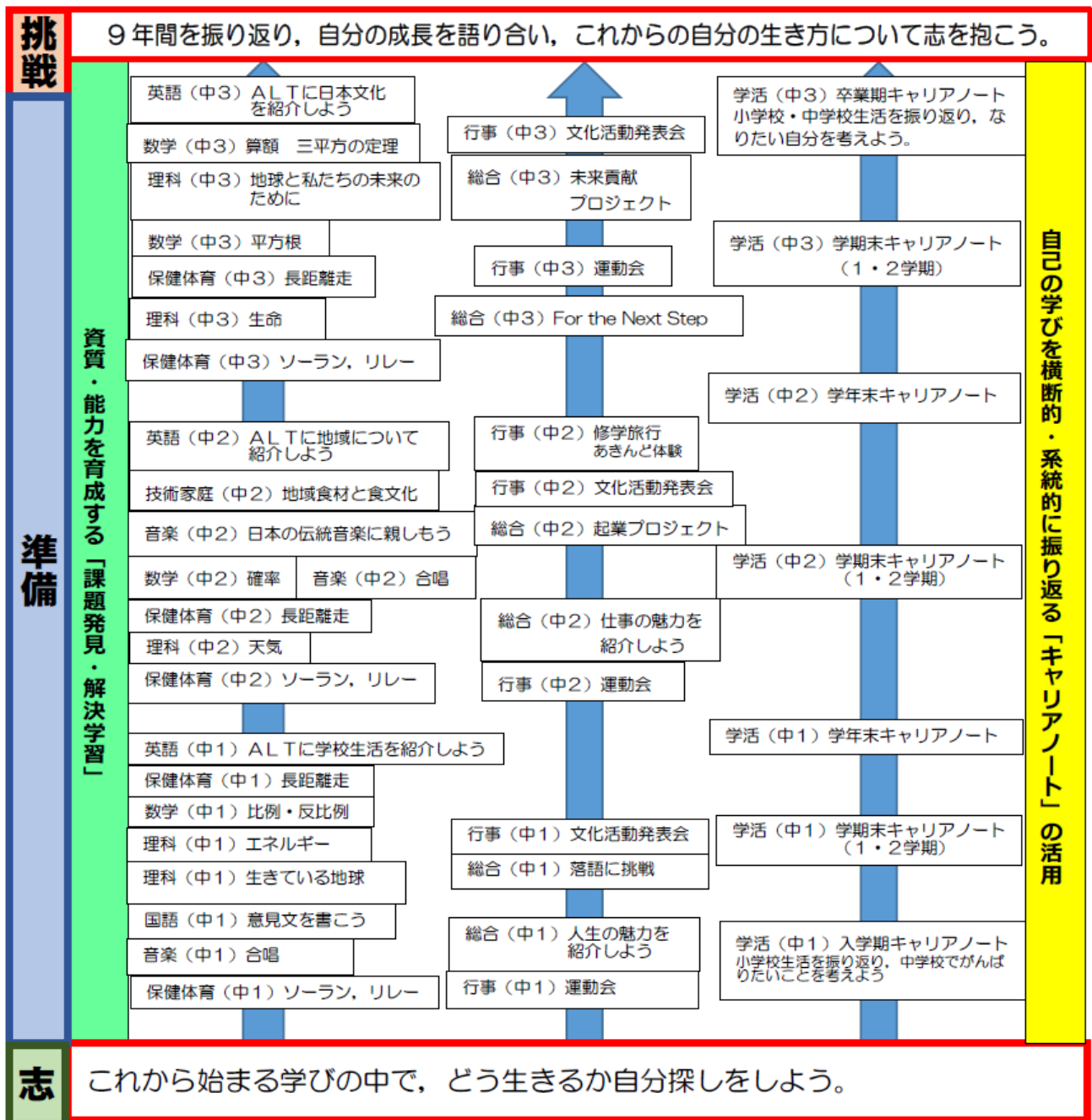
指導にあたっては、予め一覧化した中学校の「プロジェクト学習」等の活動を「キャリアノート」上に取り上げておく。その中から、生徒自身が印象に残った学びを三つ取り上げ、なぜ印象に残ったかその理由を選んだり、記述したりできるようにしておく。また、所属校で育成を目指す七つの資質・能力について振り返り、考えや感想を記述する。さらに、友だちと語り合うことによって、生徒自身が自分の成長や課題を記述する、そして、進学したり、社会に出たりしたときにがんばりたいこと、自分が大切にしたいことや努力したいことについて記述

する活動を行う。この活動の中で、特に、友だちと語り合う際には、自己の思いを素直に語る関係性が求められると考える。そのため、学級内の人間関係も配慮する必要がある。そこで、学級の実態に応じてメンバーや人数を決め、語り合う目的やルールを生徒と共有し取り組んでいくこととする。

これらの活動を通して、自己実現を図ろうとする態度を育成することをねらいとして、本題材を設定した。

### 5 貫きカリキュラム

本校の学校教育目標である「未来を創る」ために設定された七つの資質・能力の育成を目指し、学校教育活動全体で、さまざまな課題発見・解決学習を行ってきた。この課題発見・解決学習を通して身に付いた資質・能力について、ルーブリックを用いた自己評価を活用し、自分の学びをつなぎ、友だちとの語り合いによって振り返ることと、保護者、教師からの評価を得ることによって、将来の自分の在り方・生き方について考える力を育成する。



## 6 指導のねらい

これまでの「プロジェクト学習」等で印象に残ったことを振り返り、「キャリアノート」を活用することで、自己の成長や課題、努力していきたいことを考え、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

## 7 評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
・学習や生活を振り返ることで、自分の成長を実感したり、目標を立てたりすることができることを理解している。	・印象に残った「プロジェクト学習」等について、自分の言葉で、なぜ印象に残ったか、その理由を友だちに伝えている。 ・小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」を振り返り、自己の成長や課題、努力していきたいことに気付いている。	・これまでの経験を踏まえた上で、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

## 8 学習過程

### (1) 事前の生徒の活動

「キャリアノート」〔1〕〔2〕の、小学校生活や中学校生活での「プロジェクト学習」で印象に残った出来事について記入し、小学校生活や中学校生活を振り返る。

(2) 本時の展開

① 本時の目標 小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」を振り返り、がんばったことや、成長したことなどを語り合い、これからの自分の生き方について志を持つことができる。

② 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点 (○) 「配慮を要する」と判断した生徒への手立て (◆) 予想される生徒の反応 (目指す生徒の姿) (□)	評価規準 [観点] (評価方法)
導入 (5分)	○小学校・中学校の生活を振り返る。	<b>ICT一斉</b> ○スクリーンに小・中学校のころの主な行事などを提示する。その際、「キャリアノート」を見たり、友だちと話したりしながら、小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」等について、印象に残った出来事を振り返らせる。 ○「キャリアノート」[1][2]について、記述しているか確認させる。	
展開前半 (20分)	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">めあて 小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」等を振り返り、がんばったことや、成長したことなどを語り合い、これからの自分の生き方について志を抱こう。</div> ○七つの資質・能力について振り返り、考えたことや感想を記述する。 ○心に残った「プロジェクト学習」トップ3や、資質・能力について友だちと語り合う。(ペア)	挑戦・探究は伸びたなど自分でも思う。落語にチャレンジしたり、修学旅行でのあきんど体験にチャレンジしたりしたし、今年も防災の活動や創作劇に挑戦できたと思う。  ○話す場合は、相手に伝わりやすいように工夫して話すようにさせる。聞く場合は、相手の話を聞いた後、相手の成長したところや課題を伝えるようにさせる。 <b>共感</b> 授業者は、各グループに入り、生徒を認める声かけや、語り合いが深まるよう声かけをする。	[思考・判断・表現] 印象に残った「プロジェクト学習」等について、自分の言葉で、なぜ印象に残ったか、その理由を友だちに伝えている。(行動観察・「キャリアノート」[2][3][4])
展開後半 (20分)	○中学校生活を通して、成長したこと、残った課題について記述し、語り合う。  ○上級学校に進学したり、社会に出たりしたとき、がんばりたいこと、自分の中で大切にしたいこと、努力したいことを記述する。  ○友だちと語り合う。  ○どんなことを書いたか、全体で交流する。	まだまだ、自分のことになるとすぐにあきらめるところがあります。クラスのため、友だちのため、地域のためには動けるようになったけど、自分のことは、あまり前向きになれないです。  ◆記述しているキャリアノート[3][4]から自分の成長や課題がないかを問いかける。  ○これまでの学習や体験を通して、将来どのような自分になりたいかを考えさせる。  小学校の時は、みんなの前で発表したりするのは、苦手だと思っていたけど、今は、どちらかというと、楽しい。将来は、人と接したり、話をしたりする仕事に就きたいと思うようになった。これからは、コミュニケーション能力をさらにつけていきたい。  <b>ICT一斉</b> ○ICTで生徒の書いた「キャリアノート」を提示しながら、発表させる。	[思考・判断・表現] 小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」を振り返り、自己の成長や課題、努力していきたいことに気付いている。(行動観察・「キャリアノート」[5][6])  [主体的に取り組む態度] 将来は、どんなことを大切にしていきたいか、あるいは、どんな役割を担っていたいか、自分の考えをもっている。(「キャリアノート」[7])
まとめ (5分)	○語り合いで、印象に残ったことや気づきを記入する。	○学習や体験を語り合うことで、どんな効果があったかを考えさせる。  広南中では、いろんなことを体験してきたんだなあということが改めて分かった。そして、友だちと語ることで、自分も成長していることに気付くことができたのでよかった。	[知識・技能] 学習や生活を振り返ることで、自分の成長を実感したり、目標を立てたりすることができることを理解している。

(3) 事後の活動

「キャリアノート」に担任と保護者からコメントをもらい、それを受けて自分の思いを記述し、「キャリアノート」のファイルに綴じる。

9 板書計画

<p>9年間を振り返り、自分の成長や将来の自分の姿について語り合おう</p>	<p>スクリーン</p>
<p>めあて 小学校生活や中学校での「プロジェクト学習」などを振り返り、がんばったことや、成長したことなどを語り合い、これからの自分の生き方について志を抱こう 「キャリアノート」 〔3〕七つの資質・能力について振り返ろう。 〔4〕 友だちと語り合おう。 話し手：説明の仕方を工夫しよう 聞き手：話し手の成長したこと，課題を発見しよう。 〔5〕成長したこと〔6〕残った課題 〔7〕進学後や社会に出たとき、がんばりたいこと、大切にしたいこと。 ○ 振り返り</p>	